

記者発表資料
令和5年9月29日
(担当) 文化観光局交流企画課
遠藤、山越
(内線) 700-2603
(直通) 214-3025

市役所本庁舎建て替えに伴い 「リバサイドの友好の鐘」を一時移設しました

本市の国際姉妹都市である米国・リバサイド市より昭和42（1967）年に寄贈を受け、市役所本庁舎敷地に設置していた「リバサイドの友好の鐘」について、本庁舎建て替えのための先行解体工事に伴い、9月26日（火）に地下鉄東西線国際センター駅南側エントランス前広場へ一時移設しました。令和10（2028）年以降に予定している新本庁舎供用開始後は、新本庁舎の敷地内に再度移設する予定です。

1 「リバサイドの友好の鐘」について

(1) 設置の経緯

姉妹都市提携10周年を記念し、昭和42（1967）年にリバサイド市から寄贈を受けたもの。ブロンズ製の鐘とスチール製の柱は、リバサイド市のシンボルであるレインクロス※をデザインしたもの。

※アメリカ先住民族であるナバホ族が使用した「雨乞いの十字架」と、カリフォルニアにおけるキリスト教宣教活動であるカリフォルニア・ミッションの創設者が使用した「鐘」を組み合わせたもの。1968年からリバサイド市の公式シンボル（市章）として使用されている。



移設後

(2) 記念式典について

移設に先立ち、6月3日（土）に鐘の前で記念式典を行い、仙台国際ハーフマラソン大会に参加したリバサイド市選手団、市内のリバサイド市交流関連団体、仙台市文化観光局長などが参加した。



移設前（6月3日に実施した記念式典）

2 リバサイド市との国際姉妹都市提携について

(1) 提携日 昭和32（1957）年3月9日

(2) 提携動機

昭和26（1951）年5月の母の日に、在仙米陸軍病院に入院中の将兵のもとに大学婦人協会仙台支部の有志から花束が届けられた。同じ大学婦人協会リバサイド支部の会員を母とする将兵によりこのことが故郷に伝えられ、大きな反響を呼び、リバサイド市で「東北大学女子学生のための奨学制度」が設立された。これが契機となり、リバサイド市議会で数市の姉妹都市候補の中から仙台市が選ばれ、提携を行うに至った。

(3) リバサイド市について

風光明媚な南カリフォルニアの中心にあるリバサイド郡の郡都で、郡の西部に位置し、ロサンゼルスから車で1時間程度のところにある。かつて柑橘産業が盛んだったため、その時代の遺産が随所に見られる歴史の街。現在は小売業とエンターテイメント産業において継続的に発展しており、南カリフォルニア第三の郊外小売業中心都市である。また、教育水準も高く、数多くの研究機関が集積している。人口約32万人。